

## 絵本部会企画シンポジウムのご案内

2018年5月30日

### 《 保育者養成における絵本のもつ可能性 …保育者・子ども・保護者… 》

今秋、「子どもの最善の利益とは」のテーマを掲げ開催される国際幼児教育学会

第39回大会に、絵本部会は、表題のようなシンポジウムを企画しました。

保育士や幼稚園教員を志す学生の絵本への関心は高く、また特に小学校で定着している

「朝の読書運動」では、生徒が絵本を選ぶことも多いので、教員志望の学生の関心も漸増

しています。しかし、この高まりがある一方、養成校での絵本の取り上げ方は、実に多様

であるのが実情です。そこで今回は、まず現在養成校で、学生は絵本についてなにをどう

学習しているかをシラバスにスポットを当てて取り上げること、子どもたちが家庭や園で

どのように絵本に親しんでいるのかを、豊富な保育経験を踏まえた事例で共有すること、

また多様性と芸術性に富む現在の絵本を養成校の授業で伝えていく意義、など

3つの視点から《絵本のもつ可能性》をご参加の皆さまに問いかけ、対話を深めたいと

思います。

コーディネーター 山田千明 埼玉県立大学

指定コメンテーター 山岡テイ 情報教育研究所 (海外の絵本活用の様子も交えコメント)

シンポジスト 〈保育者養成校シラバスにみる絵本〉 上田智子 聖徳大学

〈子ども理解と絵本〉 高橋かほる 聖徳大学

〈絵本のワンダー〉 宮地敏子 目白大学・大妻女子大学

奮ってご参加ください。 絵本部会会員 随時募集中 [iaeeehon@gmail.com](mailto:iaeeehon@gmail.com)

(※ 迷惑メール対策で「@」の部分を「○」にしてあります。「@」に直してお送りください。)